

生後2カ月の赤ちゃんに触れ合う生徒たち
(野洲市行畑2丁目・野洲高)



乳幼児に触れて 育児大切さ知る

野洲高で体験授業

子育てや妊娠出産について考えてもらう授業が、野洲市の野洲高で開かれた。生徒たちが赤ちゃんや幼児と触れ合ったり一緒に遊んだりして、子どもとの接し方や育児の楽しさ、大変さを学んだ。

授業は子育てボランティア団体「Hug Baby」の協力で、3年生を対象に行われた。10日の授業には、生後2カ月から3歳2カ月までの子どもと母親9組11人が参加。乳幼児の扱いに慣れておらず、当初は「子どもは無理」と戸惑っていた生徒も、別の授業で作ったオリジナルの絵本を読み聞かせたり、赤ちゃんを抱っこしたりして、楽しそうに遊んだ。

母親たちが「生まれたばかりの頃は、授乳などが大変で、精神的に追い詰められていた」「2人の子どもの生活リズムが違つので、スケジュールを組み替えるのが大変」など育児の苦労などを語ると、真剣な表情で聞き入っていた。

田口峻平さん(17)は「初めて赤ちゃん抱っこしたけど、意外と重かった。将来子育てするイメージが少しできた」と話していた。(石田真由美)